

さわらエコナビ通信

第15号・発行
平成25年3月15日
早良区生活環境課
TEL:833-4341
協力
早良区環境活動
連絡会議

出前講座

ごみ減量・
リサイクルを学ぼう！
百道小学校

百道小学校4年生の自主活動グループ（環境と安全・福祉）は、昨年10月10日に早良区生活環境課の職員を出前講座の講師として招き、環境学習会を開きました。

講師から、「①早良区が7区の中で一世帯あたりのリサイクル量が一番であること、②リサイクルに出した紙は工場で大きな釜で溶かして再生紙になること、③新聞紙は新聞紙の材料に、段ボールは段ボールの材料になるので、別々にひもで十字にしばって出すこと」など、リサイクルの説明がありました。

「一人が一年間に使う紙を作るには何本の木が必要？」との質問に対して、子どもたちから「25



新聞紙、段ボール、その他の紙類に3分別

本」との返事。講師から「2本」との答えに、「そんなに少ないの」との声が上がりました。講師から「クラス35人分では70本になります」との説明に、今度は「そんなに」と驚いていました。また、子どもたちからは「回収した古紙はどうしているの？」と質問があり、講師から「紙間屋に



早良区役所で分別の学習

集められ、工場で新聞紙や段ボール、ノートなどの材料になる」と回答。また、リサイクルできないごみ（生ごみ、プラスチックなど）は、クリーンパーク（清掃工場）で燃やして、その熱で発電していることなど、多くのことを学習しました。

指定の空きびん・ペットボトル用に入れて出す」子どもたちはその後、早良区役所に置いてある資源回収ボックスなどを見学しました。

※小学5年生以上で学ぶ漢字にはルビを振っています。

第9回室見川水系一斉清掃

みんなの川をみんなできれいに
室見川水系一斉清掃
実行委員会

早良区を流れる室見川水系（室見川、金屑川、油山川）で、昨年11月25日に9回目の一斉清掃が行われました。（室見校区では10月28日に実施）

この一斉清掃は、室見川水系の自然環境を守るために、地域住民などで組織する「室見川水系一斉清掃実行委員会（那須野昭士会長）」が、河川流域の自治会などの参加を得て、平成16年から実施しています。



平成24年 開会式（田村花立広場）

今回の一斉清掃には、地域住民やボランティア団体など約四千二百人から参加の申し込みがあり（前回は約三千八百人）、また、当日は早良警察署からもボランティアとして参加がありました。

メイン会場となった田村校区の田村花立広場で開会式が行われ、同校区自治協議会会長の倉員博行さんの「川に落ちないよう注意して、がんばりましょう」との声かけで、河川清掃が始まりました。回収されたごみの中には、投棄された自転車などもあり、全体で4トトラック20台分のごみが回収されました。



平成24年 一斉清掃（田村大橋上流）

今回、同実行委員会の那須野会長に話を聞きました。

「一斉清掃を始めたきっかけはごみが捨てられ悪臭を放つ河川をきれいにしようと、平成2年に仲間8人で「リバークリーン21・リサイクル21 自然環境保護市民の会」を結成して、河川清掃・美化活動や廃食用油を利用したせっけん作り、環境活動体験指導、出前学習などを続けていました。」

また、早良区の中心部には室見川、金屑川、油山川などが流れており、各河川には空き缶などの不

法投棄物が後を絶たない状況にありました。

このような状況を憂慮し、平成16年に地元有志（ごみ減量推進委員会、自治会、ボランティア団体等）と、実行委員会を設置。室見川水系の自然環境を守り、自然に親しむ環境づくりを推進しようと、一斉清掃を始めました。



平成23年 一斉清掃（田隈小学校前）

「一斉清掃の成果は

日頃から河川流域の住民やボランティア団体などが、それぞれ独自で河川の清掃活動を続けています。毎年、川の上流から下流までの一斉清掃を続けることで、流域

の連携が深まり、活動の輪が広がって来ました。

活動当初の平成16年の参加申込者は約千三百人でしたが、平成20年は約三千百人、平成24年は約四千二百人に増えていきます。



平成23年 開会式（田隈小学校）

「今後の抱負は

『この地球は、親からもらったものではなく、子どもたちから借りているもの』というケニアのことうを教えるに、自然を愛し自然を守る心が地域に広がっていくよう、室見川水系一斉清掃をステップに活動を続けていきたいと思えます。